学校番号	３０１３

令和３年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学Ⅱ（後期）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数研出版『改訂版数学Ⅲ』						
副教材等	数研出版『スタンダード・オリジナル数学Ⅲ』						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・時間はかかりますが、丸暗記するのではなく、概念を理解するようにしましょう。
・問題集用のノートを用意し、問題をまず自分で解いてみましょう。
　答えを提示されてから理解するよりも時間がかかりますが、自分で考えた時間は決して無駄にはなりません。
・問題演習の時間では、自分の考えを発表したり議論したりする活動も行います。
・課題（宿題）は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

平面上の曲線と極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	２次曲線の性質、微分法、積分法の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、２次曲線、微分法、積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	２次曲線の性質、微分法、積分法の考え方を利用して、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	２次曲線の性質、微分法、積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト 定期テスト 課題提出 観察等	確認テスト 定期テスト 課題提出 観察等	確認テスト 定期テスト 課題提出 観察等	確認テスト 定期テスト 課題提出 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">内容</th><th rowspan="2">単元</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="5">後期</td><td rowspan="4">第8章 積分法の応用</td><td rowspan="4">積分の応用</td><td>面積</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="4">a：積分法（不定積分・定積分）に関心をもつとともにその有用性を認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。
b：事象を数学的に考察・表現したり思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、積分法（不定積分・定積分）における数学的な見方や考え方を身につけている。
c：積分法（不定積分・定積分）の考え方を利用して、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。
d：積分法（不定積分・定積分）における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。</td><td rowspan="5">a:
確認テスト
定期テスト
課題提出
観察等
b:
確認テスト
定期テスト
課題提出
観察等
c:
確認テスト
定期テスト
課題提出
観察等
d:
確認テスト
定期テスト
課題提出
観察等</td></tr>
<tr><td>体積</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>曲線の長さ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>速度と道のり</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>問題研究</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>a：数学に関心をもつとともにその有用性を認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。
b：事象を数学的に考察・表現したり思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学における数学的な見方や考え方を身につけている。
c：数学の考え方を利用して、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。
d：数学における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。</td></tr>
</table>

※ 表中の観点について a：関心・意欲・態度 b：思考・判断・表現

c：技能 d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。